# 2021年度 授業シラバスの詳細内容

| ○基本情報 | | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 権利擁護と成年後見（Advocacy and Adult Guardianship） | | |
| ナンバリングコード | E30932 | 大分類 / 難易度<br>科目分野 | 経営経済学科 専門科目 / 応用レベル<br>社会福祉 |
| 単位数 | 2 | 配当学年 / 開講期 | 3 年 / 前期 |
| 必修･選択区分 | 選択：経営経済学部<br>コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュコース<br><br>※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。 | | |
| 授業コード | E043251 | クラス名 | － |
| 担当教員名 | 鈴木　照夫 | | |
| 履修上の注意、<br>履修条件 | 他の科目の修得を履修条件とすることおよび人数制限は行いません。<br>講義内容をしっかりとノートにとってください。<br>私語をしないようにしてください。<br>携帯電話等は電源を切って鞄の中にしまっておいてください。 | | |
| 教科書 | 特になし | | |
| 参考文献及び指定図書 | 講義の進行にともなって適宜紹介します。 | | |
| 関連科目 | 憲法、民法、行政法、更生保護 | | |

| ○成績評価の指標 | | ○成績評価基準（合計100点） | | |
|---|---|---|---|---|
| 到達目標の観点 | 到達目標 | テスト<br>（期末試験･中間確 | 提出物<br>（レポート･作品等） | 無形成果<br>（発表･その他） |
| 【関心･意欲･態度】 | 自他の権利を尊重することができる。 | 20点 | | |
| 【知識･理解】 | 相談援助活動に関連する各種法令を理解し、成年後見制度に関する基本的知識を身につけている。 | 60点 | | |
| 【技能･表現･<br>コミュニケーション】 | 各種法令を活用することができる。 | 10点 | | |
| 【思考･判断･創造】 | 法的な思考方法に慣れる。 | 10点 | | |

**○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験･レポート等の学習成果･課題のフィードバック方法）**

特になし

| ○基本情報 | | |
|---|---|---|
| 授業の目的 | ①法の考え方を理解する、②社会福祉士として、問題解決のためのツールとして各種法令があることを理解する、③実際に各種の法令を活用できるようになる、④自他の権利を尊重できるようになる、ことが目的です。 | |
| 授業の概要 | 下記の4点を主たる内容とします。<br>1. 相談援助活動と法との関わりについて理解する。<br>2. 相談援助活動において必要となる成年後見制度について理解する。<br>3. 成年後見制度の実際について理解する。<br>4. 社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などのため日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する。 | |
| 授業の運営方法 | （1）授業の形式 | 「講義形式」 |
| | （2）複数担当の場合の方式 | 「該当しない」 |
| | （3）アクティブ･ラーニング | 「該当なし」 |
| 地域志向科目 | カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目 | |
| 実務経験のある教員による授業科目 | 該当しない | |

**○その他**

# 2021年度 授業シラバスの詳細内容

| ○授業計画 | 科 目 名 | 権利擁護と成年後見（Advocacy and Adult Guardianship） | 授業コード | E043251 |
|---|---|---|---|---|
| | 担当教員 | 鈴木　照夫 | | |

**学修内容**

| | | |
|---|---|---|
| **1. オリエンテーション**<br>講義の内容及び関連科目、受講中の注意事項、評価基準、出席について説明します。 | | |
| **予習** | シラバスを熟読し、授業の目的、概要等を理解する。社会福祉士として法令を学ぶ意義を考える。 | 約2時間 |
| **復習** | ノート整理・権利擁護の意義について考える。 | 約2時間 |
| **2. 相談援助活動と法との関わり(1)**<br>相談援助活動で想定される法律問題について理解します。 | | |
| **予習** | 講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。 | 約2時間 |
| **復習** | ノート整理・事例について考える。 | 約2時間 |
| **3. 相談援助活動と法との関わり(2)**<br>日本国憲法の基本原理を理解します。特に基本的人権について学びます。 | | |
| **予習** | 講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。 | 約2時間 |
| **復習** | ノート整理 | 約2時間 |
| **4. 相談援助活動と法との関わり(3)**<br>民法の基礎的知識を理解します。総則、契約、不法行為について学びます。 | | |
| **予習** | 講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。 | 約2時間 |
| **復習** | ノート整理・消費者契約法の内容についてレポート作成 | 約2時間 |
| **5. 相談援助活動と法との関わり(4)**<br>民法の基礎的知識を理解します。親族、相続について学びます。 | | |
| **予習** | 講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。 | 約2時間 |
| **復習** | ノート整理・嫡出でない子の法定相続分についてレポート作成 | 約2時間 |
| **6. 相談援助活動と法との関わり(5)**<br>行政法の基礎的知識を理解します。行政行為について学びます。 | | |
| **予習** | 講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。 | 約2時間 |
| **復習** | ノート整理 | 約2時間 |
| **7. 相談援助活動と法との関わり(6)**<br>行政法の基礎的知識を理解します。行政事件訴訟および不服申立てについて学びます。また、情報公開についても概説します。 | | |
| **予習** | 講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。 | 約2時間 |
| **復習** | ノート整理・事例について考える。 | 約2時間 |
| **8. 成年後見制度(1)**<br>法定後見制度（後見、保佐、補助）の制度概要、成年被後見人等の行為能力、成年後見人等の役割について学びます。 | | |
| **予習** | 講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。 | 約2時間 |
| **復習** | ノート整理・事例について考える。 | 約2時間 |

| ○授業計画 | 科 目 名 | 権利擁護と成年後見（Advocacy and Adult Guardianship） | 授業コード | E043251 |
|---|---|---|---|---|
| | 担当教員 | 鈴木　照夫 | | |

**学修内容**

| | | |
|---|---|---|
| **9. 成年後見制度(2)**<br>任意後見制度、成年後見登記制度について学びます。 | | |
| **予習** | 講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。 | 約2時間 |
| **復習** | ノート整理・事例について考える。 | 約2時間 |
| **10. 成年後見制度(3)**<br>成年後見制度の最近の動向および成年後見制度利用支援事業について学びます。 | | |
| **予習** | 講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。 | 約2時間 |
| **復習** | ノート整理・成年後見制度の現状と課題についてレポート作成 | 約2時間 |
| **11. 日常生活自立支援事業**<br>専門員、生活支援員の役割、日常生活自立支援事業の最近の動向について学びます。 | | |
| **予習** | 講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。 | 約2時間 |
| **復習** | ノート整理・事例について考える。 | 約2時間 |
| **12. 権利擁護に関わる組織、団体の役割と実際**<br>家庭裁判所、法務局、市町村長、弁護士等の役割および社会福祉士の活動の実際について学びます。 | | |
| **予習** | 講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。 | 約2時間 |
| **復習** | ノート整理 | 約2時間 |
| **13. 権利擁護活動の実際(1)**<br>権利擁護活動に関する事例検討を行います。 | | |
| **予習** | 講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。 | 約2時間 |
| **復習** | ノート整理・事例について考える。 | 約2時間 |
| **14. 権利擁護活動の実際(2)**<br>権利擁護活動に関する事例検討を行います。 | | |
| **予習** | 講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。 | 約2時間 |
| **復習** | ノート整理・事例について考える。 | 約2時間 |
| **15. 権利擁護活動の実際(3)**<br>権利擁護活動に関する事例検討を行います。 | | |
| **予習** | 講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。 | 約2時間 |
| **復習** | ノート整理・事例について考える。演習問題 | 約2時間 |
| **16. 期末試験**<br>第1週から第15週までの内容について試験を実施します。 | | |
| **予習** | | |
| **復習** | | |